



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名 日建工学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9767 URL <https://www.nikken-kogaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 皆川 曜児
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大門 忠志 TEL 03-3344-6811
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,373	△30.7	△42	—	△28	—	△48	—
2022年3月期第1四半期	1,982	△4.8	209	76.8	218	59.3	157	60.1

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △81百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 126百万円 (6.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△26.81	—
2022年3月期第1四半期	86.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,406	3,685	57.5
2022年3月期	7,303	3,821	52.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 3,685百万円 2022年3月期 3,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年3月期	—				
2023年3月期（予想）		0.00	—	30.00	30.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,100	△11.4	100	△73.7	130	△68.4	100	△67.9	54.84
通期	7,400	△11.0	500	△37.7	550	△36.5	420	△36.6	230.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	1,862,254株	2022年3月期	1,862,254株
2023年3月期1Q	38,917株	2022年3月期	38,852株
2023年3月期1Q	1,823,384株	2022年3月期1Q	1,823,717株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想の前提条件等に関する事項につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う行動制限等が徐々に緩和されることにより社会経済活動に正常化の動きが見られましたが、同感染症の収束が未だ見通せないほか、急速な円安の進行やウクライナ情勢を背景に世界的資源価格の高騰やサプライチェーンの混乱により、世界経済の不透明感は益々高まってきています。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移しておりますが、建設業界における労務単価、建設資材価格等の上昇により、益々厳しい経営環境となってまいりました。

このような経営環境のもと当社グループは、公共土木施設の強靱化へ向けた製品の獲得と利益向上へ取り組みましたが、災害復旧事業が減少していることから当社グループに関連する事業量が減少し、厳しい状況で推移した結果、売上高は1,373百万円（前年同四半期比30.7%減）を計上し、営業損失は42百万円（前年同四半期は209百万円の営業利益）、経常損失は28百万円（前年同四半期は218百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は48百万円（前年同四半期は157百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績の概況

型枠貸与事業

前年度までの台風や集中豪雨による災害復旧工事の減少により売上高は361百万円（前年同四半期比23.6%減）となり、営業損失は17百万円（前年同四半期は83百万円の営業利益）となりました。

製品販売事業

災害に対応した河川用護岸ブロックは減少し、土木シート製品の出荷が底堅く推移いたしましたが、売上高は1,011百万円（前年同四半期比32.9%減）となり、営業損失は24百万円（前年同四半期は126百万円の営業利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は6,406百万円となり、前連結会計年度末比897百万円の減少となりました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少601百万円、電子記録債権の減少128百万円、現金及び預金の減少145百万円等によるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は2,721百万円となり、前連結会計年度末比761百万円の減少となりました。

その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少654百万円、長期借入金（1年内返済予定含む）の減少44百万円等によるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3,685百万円となり、前連結会計年度末比136百万円の減少となりました。

その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失等による利益剰余金の減少103百万円、その他有価証券評価差額金の減少32百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,721,008	2,575,056
受取手形及び売掛金	2,432,316	1,830,783
電子記録債権	334,231	205,815
商品及び製品	152,686	199,454
原材料及び貯蔵品	10,624	10,524
未収還付法人税等	13,043	—
その他	130,947	102,566
貸倒引当金	△29,784	△10,998
流動資産合計	5,765,073	4,913,201
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	200,542	197,884
その他(純額)	262,599	275,127
有形固定資産合計	463,141	473,012
無形固定資産		
	16,882	18,346
投資その他の資産		
投資有価証券	703,213	657,532
退職給付に係る資産	4,412	2,780
その他	497,168	497,639
貸倒引当金	△145,928	△155,751
投資その他の資産合計	1,058,865	1,002,201
固定資産合計	1,538,889	1,493,560
資産合計	7,303,963	6,406,762
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,142,037	1,487,408
短期借入金	25,000	12,500
1年内返済予定の長期借入金	176,000	151,000
未払金	89,091	149,670
リース債務	79,165	90,298
未払法人税等	67,739	15,410
その他	209,973	173,191
流動負債合計	2,789,008	2,079,479
固定負債		
長期借入金	320,500	301,500
リース債務	133,109	118,630
繰延税金負債	71,504	59,927
退職給付に係る負債	113,971	116,183
その他	54,311	45,641
固定負債合計	693,398	641,883
負債合計	3,482,406	2,721,363

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,427	1,004,427
資本剰余金	541,691	541,691
利益剰余金	2,220,079	2,116,500
自己株式	△66,299	△66,389
株主資本合計	3,699,899	3,596,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121,657	89,169
その他の包括利益累計額合計	121,657	89,169
非支配株主持分	—	—
純資産合計	3,821,556	3,685,399
負債純資産合計	7,303,963	6,406,762

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	1,982,093	1,373,444
売上原価	1,433,708	1,076,027
売上総利益	548,384	297,416
販売費及び一般管理費	338,751	340,329
営業利益又は営業損失(△)	209,633	△42,912
営業外収益		
受取利息	9	2
受取配当金	4,788	6,501
棚卸資産処分益	5,687	—
貸倒引当金戻入額	214	9,053
為替差益	46	343
その他	802	524
営業外収益合計	11,547	16,425
営業外費用		
支払利息	2,024	1,651
その他	945	206
営業外費用合計	2,969	1,858
経常利益又は経常損失(△)	218,211	△28,344
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	218,211	△28,344
法人税、住民税及び事業税	61,198	18,916
法人税等調整額	—	1,614
法人税等合計	61,198	20,531
四半期純利益又は四半期純損失(△)	157,012	△48,876
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	157,012	△48,876

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	157,012	△48,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,340	△32,487
その他の包括利益合計	△30,340	△32,487
四半期包括利益	126,671	△81,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,671	△81,364
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	473,428	1,508,664	1,982,093
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	473,428	1,508,664	1,982,093
セグメント利益	83,246	126,386	209,633

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	209,633
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	209,633

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	361,611	1,011,833	1,373,444
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	361,611	1,011,833	1,373,444
セグメント損失 (△)	△17,920	△24,992	△42,912

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△42,912
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業損失 (△)	△42,912

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	製品販売事業	
一時点で移転される財 一定の期間にわたり移転される財	— 473,428	1,508,664 —	1,508,664 473,428
顧客との契約から生じる収益	473,428	1,508,664	1,982,093
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	473,428	1,508,664	1,982,093

当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	製品販売事業	
一時点で移転される財 一定の期間にわたり移転される財	— 361,611	1,011,833 —	1,011,833 361,611
顧客との契約から生じる収益	361,611	1,011,833	1,373,444
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	361,611	1,011,833	1,373,444